

平成 28 年度

事業概要



佐賀県食肉衛生検査所

〒846-0024 佐賀県多久市南多久町大字下多久4127

電話 0952(76)2611

FAX 0952(71)2008

E-mail: shokunikukensa@pref.saga.lg.jp

はじめに

平成 13 年 9 月、国内において B S E の発生が初めて確認され、同年 10 月には食用として処理されるすべての牛を対象とした B S E 検査が全国一斉に開始されました。国内外で飼料規制等の対策がとられ、世界的に B S E の発生数は大きく減少し、国内においては平成 15 年以降に生まれた牛からは B S E は発見されていません。

B S E の国内対策については、食品安全委員会による、検査体制、輸入条件といった食品安全上の対策についての科学的な評価・検証を踏まえ、検査対象月齢の引き上げや特定危険部位の範囲の改正等が行われてきました。平成 25 年 7 月には、B S E 検査対象月齢が 48 か月齢超の牛のみとなり、それ以降も B S E 感染牛が発見されなかったことから、本年 4 月からは健康牛に係る B S E 検査が廃止されることになりました。

本年 2 月 4 日には、当県において 2 年ぶりに 2 例目の鳥インフルエンザが発生しました。平成 27 年 1 月の初発生以来、より迅速で円滑な防疫体制を確立するために、対策行動指針の見直しや演習を行ってきました。民間団体等の協力も得て、発生から約 49 時間で 2 農場、約 71,000 羽の防疫措置を完了することができました。

また、その後のまん延防止対策として、消毒ポイントの設置や県内養鶏農家への消石灰の配布等を実施した結果、新たな鳥インフルエンザの発生は認められず、2 月 28 日には移動制限区域を解除することができました。当所の職員も清浄性確認検査等の応援業務に従事し、まん延防止対策の一端を担いました。

今後も、危機管理意識をもち、検査技術の習得及び研鑽に努める所存です。

当所においては、と畜場法及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に基づくもののほかに、食品衛生監視指導計画に基づき、残留有害物質のモニタリング検査や微生物汚染状況調査、関連施設の衛生監視指導を行うことにより食肉・食鳥肉の安全性確保に努めています。

今後とも、関係機関と連携を図りながら、安全で安心な食肉・食鳥肉を提供するためにより一層業務の推進に取り組んでいきたいと考えております。

ここに平成 28 年度の事業概要を取りまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

平成 29 年 8 月

佐賀県食肉衛生検査所長 園田 元康

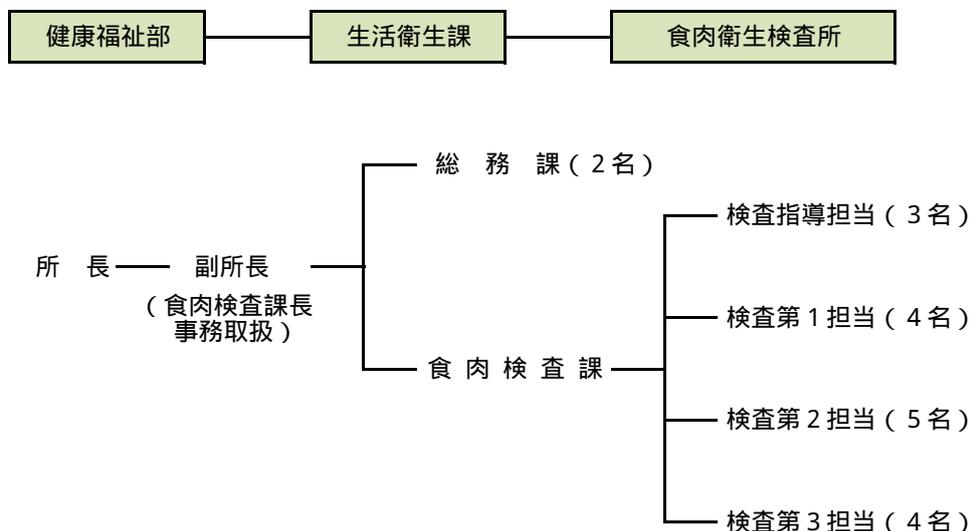
目 次

第1章	検査所の概要	
1	組織及び業務内容	1
2	施設	4
3	備品	6
4	手数料	7
5	県内のと畜場	8
6	と畜検査フロー	9
第2章	検査事業	
1	検査事業の概要	10
2	検査統計	12
(1)	と畜検査頭数の推移	12
(2)	と畜検査頭数の内訳	14
(3)	検査結果に基づく措置状況	16
(4)	病畜の検査状況(県計頭数)	25
(5)	BSEスクリーニング検査結果	27
(6)	精密検査	28
第3章	食鳥肉衛生指導事業	
1	県内食鳥処理場位置図	30
2	事業概要	31
(1)	立入検査状況	31
(2)	収去検査状況	31
(3)	拭き取り検査状況	31
(4)	食鳥検査及び確認状況	32
第4章	調査研究事業	
1	調査・研究・報告の概要	34
	(学会等発表)	
	牛の卵巣の腫瘍	35
2	研修・会議等参加状況	36
第5章	その他の事業	
1	佐賀大学との調査研究	37
2	食肉に関する衛生教育及び施設研修等	37
3	と畜検査結果のフィードバック	37
4	研究機関等への協力	38

第1章 検査所の概要

1 組織及び業務内容

(1) 組織（平成29年6月30日現在）



職員の構成 平成29年6月30日現在

区分	事務職員	技術職員(獣)	計
所長		1	1
副所長		1	1
総務課	2		2
食肉検査課		16	16
計	2	18	20

(2) 業務内容

ア) と畜場法に基づき、食用に供する目的で搬入された獣畜について食肉の安全性を確保するため、生体検査・解体検査・BSE検査及び精密検査を行う。

イ) と畜検査の結果、食用として不適と判断された場合、とさつ・解体の禁止、廃棄等の行政措置を行う。

ウ) と畜場及び食鳥処理場における施設の衛生確保を図るため、施設設備の清掃・消毒、そ族・昆虫の駆除、排水処理、廃棄物処理等について監視指導を行う。

エ) と畜場及び食鳥処理場における食肉の安全確保を図るため、監視・指導・検査を行い、病原菌に汚染され、又は汚染されるおそれのある場合、公衆衛生上の必要な措置を講ずる。

オ) 食肉衛生に関する情報の収集管理、調査・研究、知識の普及啓発及びと畜検査の技術の研鑽を行う。

カ) 食品衛生法に基づき、と畜場及び食肉処理場における食肉・食鳥肉の収去検査を行う。

佐賀県食肉衛生検査所設置条例（抄）

第1条 と畜場法（昭和28年法律第114号）に基づくと畜の検査及びと畜場の衛生、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成2年法律第70号）に基づく食鳥処理場の衛生並びに食品衛生法（昭和22年法律第233号）に基づくと畜場内又は食鳥処理場内における食品衛生に関する事務を分掌させるため、食肉衛生検査所を設置する。

第2条 食肉衛生検査所の名称、位置及び所管区域は、次のとおりとする。

名 称	位 置	所管区域
佐賀県食肉衛生検査所	多久市	佐賀県全域

佐賀県食肉衛生検査所管理規則（抄）

（組織）

第2条 検査所に次の課を置く。

総務課

食肉検査課

（分掌事務）

第4条 各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- 1 公印の管守に関する事。
- 2 職員の服務に関する事。
- 3 文書の収受、発送及び保存に関する事。
- 4 庶務に関する事。
- 5 会計事務に関する事。
- 6 所管事務の総合調整に関する事。
- 7 その他他課の所掌に属しない事項に関する事。

食肉検査課

- 1 と畜検査に関する事。
- 2 と畜検査及び食鳥検査に基づく措置に関する事。
- 3 と畜場及び食鳥処理場並びにと畜衛生及び食鳥処理衛生に関する事。
- 4 と畜場内及び食鳥処理場内における食肉衛生に関する監視、指導、検査及び措置に関する事。
- 5 動物由来感染症（動物から人間へ感染する疾病をいう。）の調査研究に関する事。
- 6 食肉衛生に係る情報の収集管理に関する事。
- 7 食肉衛生に係る知識の普及啓蒙に関する事。
- 8 食肉衛生検査の技術指導及び研修に関する事。

(所長の専決事項)

第 8 条 所長は、次に掲げる事項について専決処理することができる。

- 9 と畜場法 (昭和 2 8 年法律第 1 1 4 号) 第 1 7 条第 1 項及び佐賀県と畜場に関する条例 (平成 15 年佐賀県条例第 17 号) 第 3 条の 3 第 1 項の規定による報告の徴収及び立入検査に関すること。
- 10 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律 (平成 2 年法律第 7 0 号。以下「法」という。) に基づく届出及び報告 (法第 2 1 条に規定する指定検査機関 (以下「指定検査機関」という。) に関するものを除く。) の受理に関すること。
- 11 法に基づき立入検査、監督及び指導 (指定検査機関に関するものを除く。) に関すること。
- 12 と畜場内及び食鳥処理場内における食品衛生法 (昭和 2 2 年法律第 2 3 3 号) 第 2 8 条第 1 項の規定による報告の徴収及び立入検査に関すること。

と畜場法及び佐賀県と畜場に関する条例施行規則 (抄)

(事務の委任)

第 7 条 佐賀県食肉衛生検査所長に、次に掲げる事務を委任する。

- 1 法〔と畜場法〕第 1 3 条第 1 項第 1 号の規定による届出の受理に関すること。
- 2 法第 1 3 条第 3 項の規定による指示に関すること。
- 3 法第 1 4 条の規定による検査に関すること。
- 4 法第 1 6 条の規定による措置に関すること。
- 5 政令〔と畜場法施行令〕第 4 条第 2 号の規定による許可に関すること。
- 6 政令第 5 条第 1 項第 1 号から第 3 号までの規定による許可に関すること。

食品衛生法及び佐賀県食品衛生条例施行規則 (抄)

(委任)

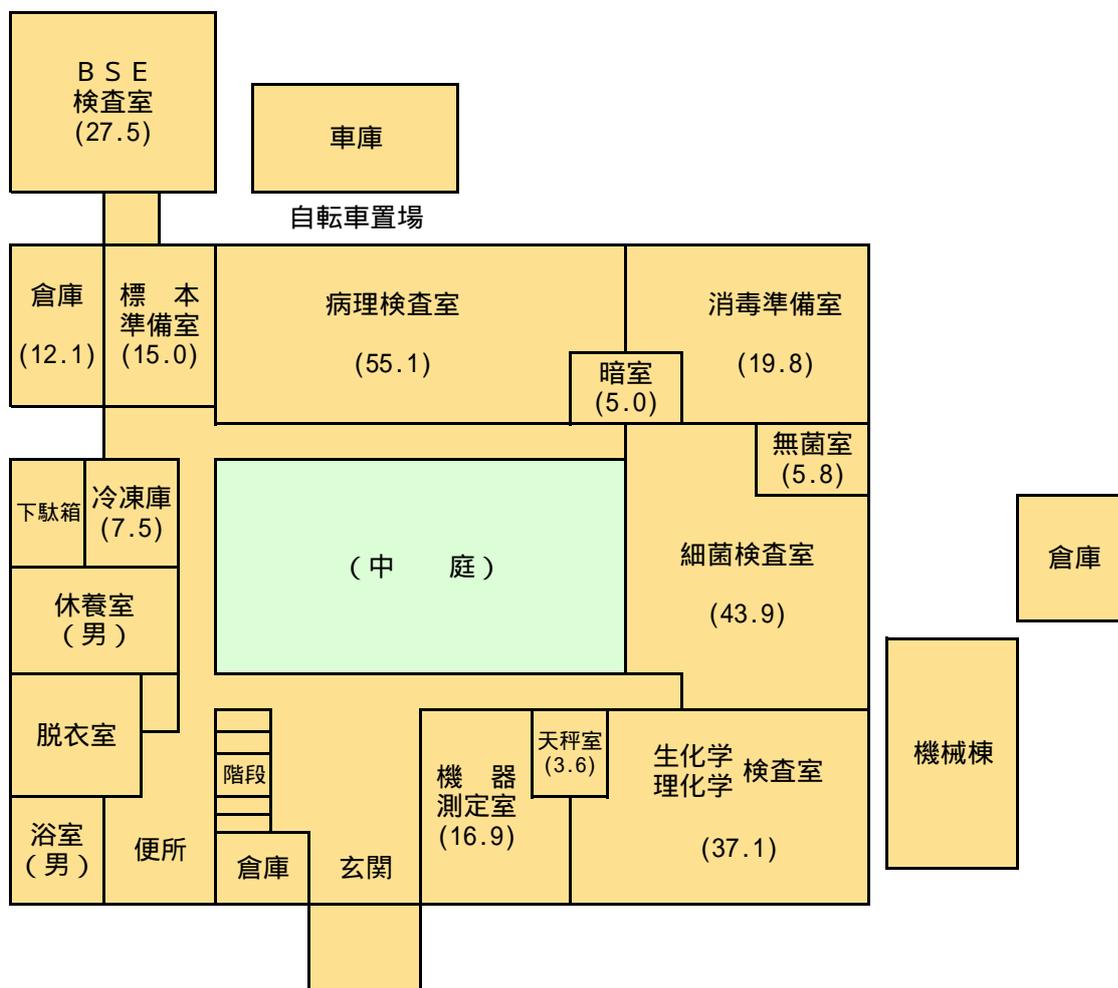
第 1 6 条 と畜場又は食鳥処理場内において法〔食品衛生法〕第 6 条、第 9 条、第 1 0 条及び第 1 1 条第 2 項の規定に違反した場合における法第 5 4 条の規定による処置命令に関する事務は、佐賀県食肉衛生検査所長に委任する。

2 施 設

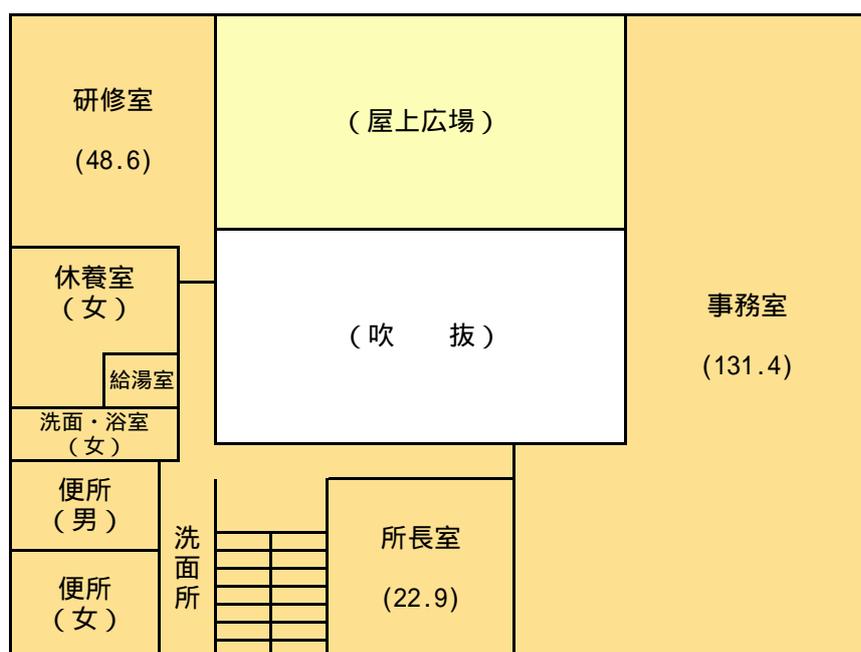
(ア) 所在地	多久市南多久町大字下多久4 1 2 7
(イ) 敷地面積	958.32㎡
(ウ) 建 物	本 館 鉄筋コンクリート 2階建 669.56㎡
	1階 383.33㎡
	2階 286.23㎡
	車 庫 鉄骨スレート造 平屋 22.04㎡
	機械室 鉄筋コンクリート 平屋 24.00㎡
	倉 庫 プレハブ物置 6.25㎡
	合計面積 721.85㎡
	建築面積 423.48㎡
(エ) 工 期	起工 昭和55年 8月 5日
	竣工 昭和56年 1月31日
(オ) 総事業費	143,530千円
	設計監理委託 3,850千円(昭和53年度、55年度)
	建築工事費 104,526千円(昭和55年度、56年度)
	初度調度費その他 35,154千円(昭和53年度、55年度)
(カ) その後の主な増改築等	
	事務所増築工事(平成3年度、4年度)
	建築工事費 10,300千円
	倉庫増築工事(平成4年度)
	建築工事費 2,360千円
	プレハブ倉庫新築工事(平成11年度)
	建築工事費 283千円
	B S E 検査室増築工事(平成14年度)
	設計監理委託 578千円
	建築工事費 7,770千円
	受変電設備、空調設備改修工事(平成19年度)
	設計監理委託 1,029千円
	受変電設備等改修工事 10,332千円
	空調設備改修工事 6,265千円
	女子休養室改修工事(平成24年度)
	建築工事費 1,250千円
	外壁改修工事(平成25年度)
	設計監理委託 777千円
	建築工事費 9,341千円
	構内電話設備更新工事(平成27年度)
	建築工事費 518千円

平面図

1 階



2 階



() 書きは室面積 (単位: m²)

3 備 品

主要検査機器

(単位：円)

品 名	数	規 格	製作社名	購入金額	購入年月日	設置場所
マイクロスコープ	1	K - H 2 2 0 0	(株)ハイトロン	1,648,000	H 7.11.27	病 理 検 査 室
コールドトーム	1	CM-502 CFSA	サ ク ラ	3,423,000	H12. 1.20	病 理 検 査 室
安全キャビネット	1	MHE-130AJ	サ ン ヨ ー	1,481,550	H13.10.15	B S E 検 査 室
ドラフトチャンバー	1	DF-11AK型-1200	ダ ル ト ン	1,638,000	H15. 3.26	B S E 検 査 室
生物顕微鏡	1	BX51-34	オ リ ン パ ス	1,165,500	H16. 9.30	病 理 検 査 室
ドラフトチャンバー	1	TQ-600-2型	ダ ル ト ン	2,131,500	H18. 1.24	理 化 学 検 査 室
ドラフトチャンバー	1	TQ-610-2T型	ダ ル ト ン	3,091,200	H20. 3. 7	病 理 検 査 室
安全キャビネット	1	VH-1300BH-2A2	(株)日本医科 器 械 製 作 所	1,470,000	H23. 6. 7	細 菌 検 査 室
リアルタイムPCR 増幅装置	1	C F D - 3120 J 1	バイオラッド (株)	1,596,000	H24. 4.18	細 菌 検 査 室
超低温フリーザー	1	M D F - U 3 3 V	パナソニックヘル スケア(株)	1,596,000	H25.11.21	細 菌 検 査 室
高速大容量冷却遠心機	1	7000	久保田商事(株)	2,467,500	H26. 2.28	理 化 学 検 査 室
密封式自動固定包埋装 置	1	ティッシュ・テッ ク V I P - 6	サクラファイン テックジャパン (株)	4,987,500	H26. 3.11	病 理 検 査 室
システム生物顕微鏡 (撮影装置付)	1	顕微鏡 顕微鏡用 デジタルカメラ	オリンパス(株)	3,893,400	H26. 3.20	細 菌 検 査 室
微量高速冷却遠心機	1	M X - 3 0 7	(株)トミー精工	1,112,400	H26. 9.18	B S E 検 査 室
ミクロトーム	1	R E M - 7 1 0 ・ S B	大和光機工業 (株)	1,080,000	H26.10.28	病 理 検 査 室
高速液体クロマトグラ フシステム	1	Agilent 1 2 6 0 Infinity	アジレント・テ クノロジー(株)	8,640,000	H28.2.12	理 化 学 検 査 室
臨床化学分析装置	1	スポットケム EZ SP-4430	アークレイ(株)	1,074,600	H28.5.19	理 化 学 検 査 室
顕微鏡画像撮影装置	1	O L Y M P U S D P 7 3	オリンパス(株)	1,749,600	H28.8.25	病 理 検 査 室
パラフィン包埋ブロッ ク作成装置	1	ティッシュ・テッ ク TEC 5	サクラ精機(株)	1,674,000	H28.9.9	病 理 検 査 室

4 手 数 料

(1) と畜検査手数料

H29.6.30 現在 (円/頭)

畜 種	手 数 料	
	時 間 内	時 間 外
牛	660	1,300
馬	660	1,300
豚	330	660
めん羊・山羊	220	440

(2) 事務手数料(と畜検査実施証明等)

1件 350円

(参考) 佐賀県食肉センターの使用料及び解体料

H29.6.30 現在 (円/頭)、消費税別

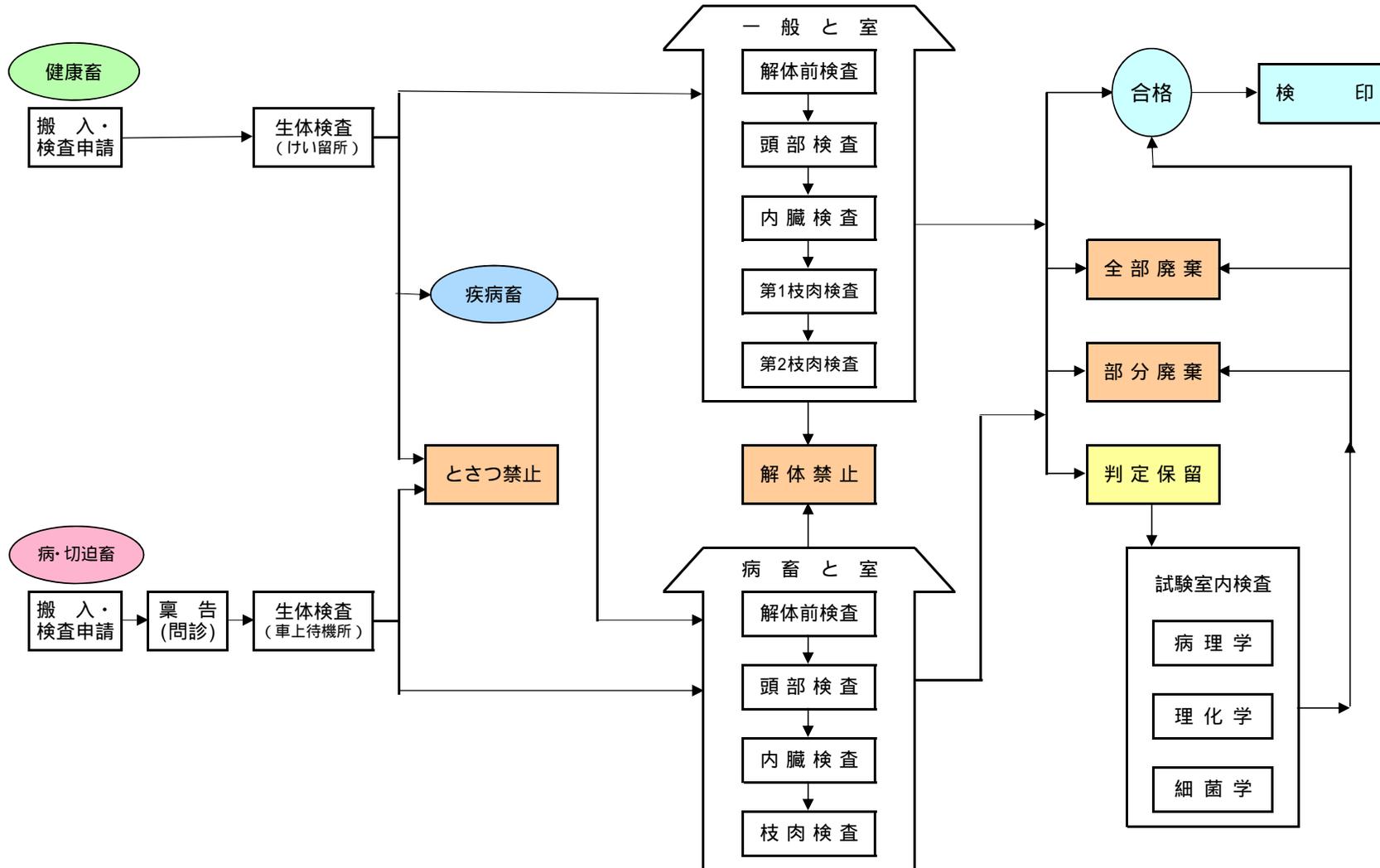
項 目 畜 種	と 場 使 用 料		解 体 手 数 料		
	時 間 内	時 間 外	一般解体料	事 故 畜 解 体 料	
				時 間 内	時 間 外
牛・種雄牛	2,500	5,000	4,580	7,580	9,330
とく	1,750	3,650	3,150	5,150	6,270
乳とく	1,050	2,350	1,310	2,310	3,110
馬・種雄馬	1,500	4,000	4,080	7,080	8,830
豚大貫	700	2,000	2,100	4,100	5,800
豚	700	2,000	1,160	2,160	2,960
めん羊・山羊	350	1,000	630	1,150	1,800

5 県内のと畜場



と畜場番号	と畜場名	運営形態	備考
	太良食肉センター	組合	昭和46年7月開設
	佐賀県食肉センター	一般社団法人	昭和56年1月開設

6 と畜検査フロー



48か月齢超の牛、めん羊・山羊については、頭部検査後、延髄を採取し、TSE(BSE)スクリーニング検査を実施。

第2章 検査事業

1 検査事業の概要

当検査所は、食肉の安全確保を図るため、家畜疾病等の排除を行うとともに、と畜場内の処理工程における食肉の衛生的取扱いについて監視指導を行っている。

さらに、食肉、鶏卵等の残留有害物質検査、枝肉の腸管出血性大腸菌、サルモネラの検査等を実施した。

(1) と畜検査頭数の推移

と畜頭数は、ここ数年微減している。

今年度の総検査頭数は115,960頭で、前年度と比較して4.1%(5,010頭)の減少である。

畜種別にみると牛5,500頭、とく7頭、豚110,453頭となっており、牛・とくは前年度と比較して9.8%(599頭)、豚は前年度と比較して3.8%(4,411頭)減少している。

(2) と畜検査頭数の内訳

肉用牛5,230頭、乳用牛270頭、とく7頭、豚110,453頭(佐賀県食肉センター94,132頭、太良食肉センター16,321頭)。総検査頭数に占める割合は牛・とくが4.7%、豚が95.3%である。

病畜として搬入された獣畜は541頭で総検査頭数の0.05%であり、畜種別では牛531頭、とく7頭、豚3頭であった。

(3) 検査結果に基づく措置

全部廃棄

全部廃棄頭数は、牛70頭、とく1頭、豚233頭、計304頭であった。

牛は、白血病が26頭、膿毒症が18頭、敗血症が6頭、尿毒症が8頭、全身性の変性が8頭、高度の黄疸が2頭、全身性の腫瘍が2頭であった。

とくは、全身性の変性が1頭であった。

豚は、膿毒症が187頭、敗血症が17頭、豚丹毒が18頭、全身性の変性が8頭、高度の黄疸が1頭、全身性の炎症が1頭、白血病が1頭であった。

部分廃棄

牛・とくの部分廃棄件数の器官別内訳は、呼吸器系14.9%、循環器系1.9%、消化器系47.8%、泌尿生殖器系30.2%、運動器系及びその他5.2%であった。豚の部分廃棄件数の器官別内訳は、呼吸器系59.4%、循環器系6.9%、消化器系29.6%、泌尿生殖器系2.2%、運動器系及びその他1.9%であった。

(4) 病畜の検査状況

病畜の検査結果に基づく疾患の分類は、呼吸器系疾患18.7%、循環器系疾患0%、肝疾患13.9%、消化器系疾患10.5%、泌尿器系疾患5.9%、生殖器系疾患6.8%、運動器系疾患21.1%、その他の疾患11.6%、全部廃棄11.5%であった。

(5) BSE検査

平成25年7月1日からのBSE検査対象月齢が引き上げに伴い、48か月齢超の牛のみ検査を実施した。今年度は355頭検査を行い、全頭陰性であった。

(6) 精密検査

と畜場での生体及び解体後の検査で精密検査を要するものについては、試験室において病理学的、理化学的、細菌学的検査を実施した。

(7) 衛生管理指導

佐賀県食肉センターで2回、太良食肉センターで1回の立入検査を実施した。と畜場法に基づく衛生管理が適切に実施されているかの確認、指導を行うとともに、衛生講習会を実施することにより、従事者の衛生に対する意識向上を図った。

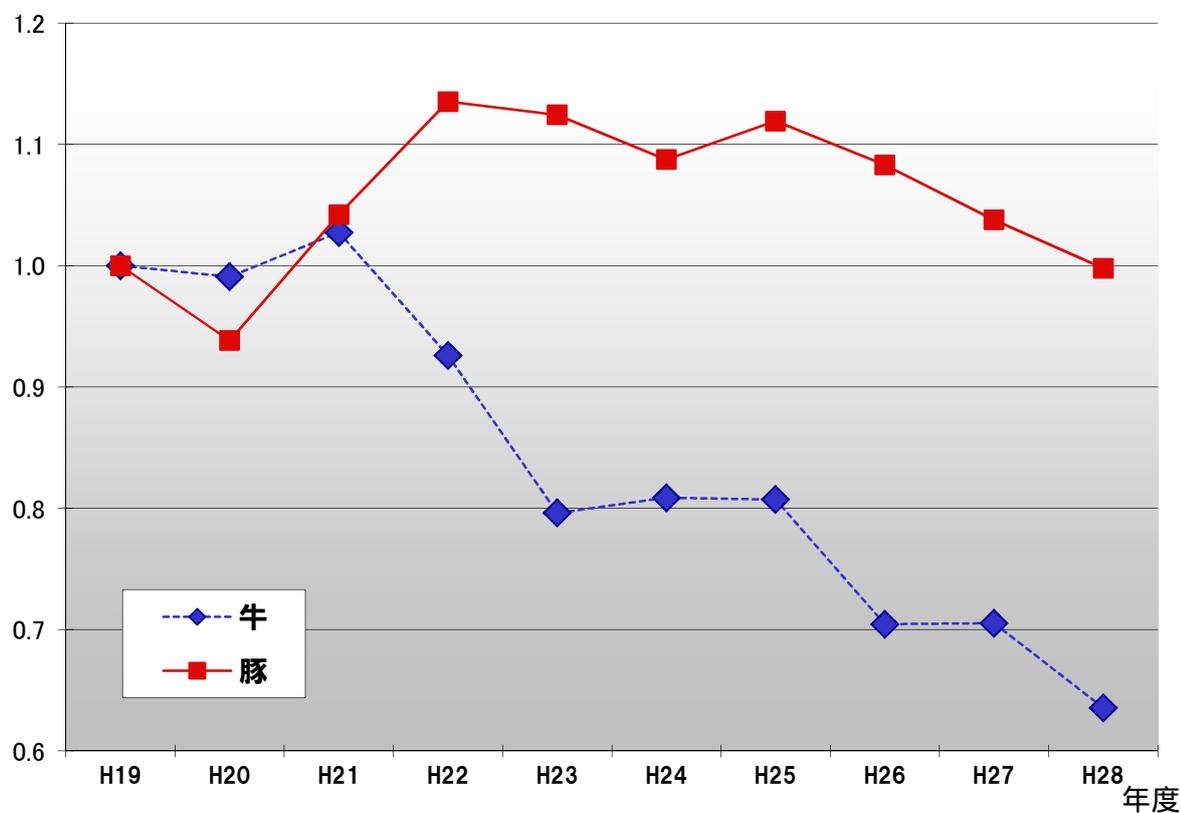
2 検査統計

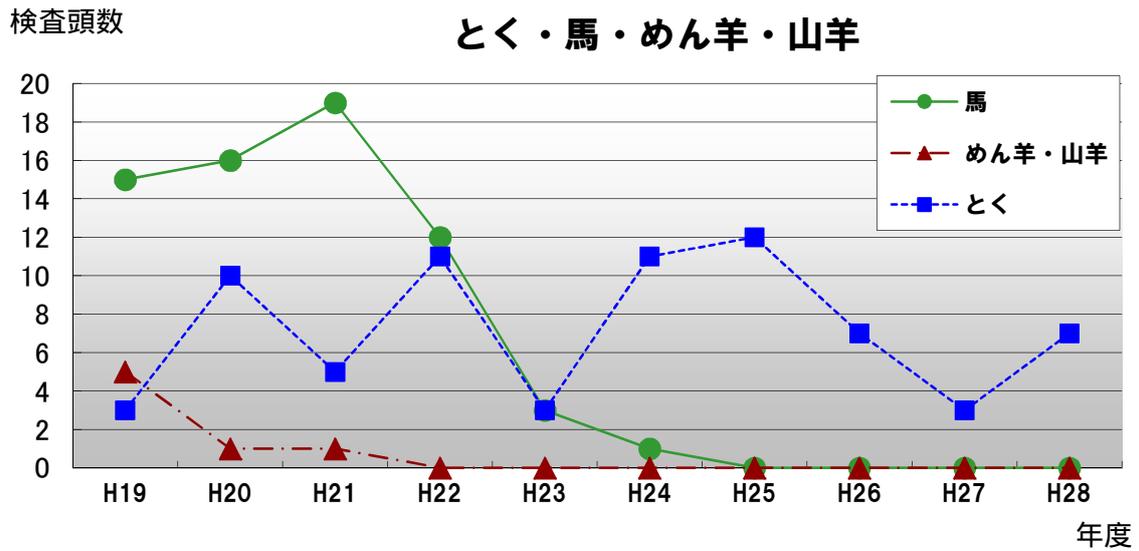
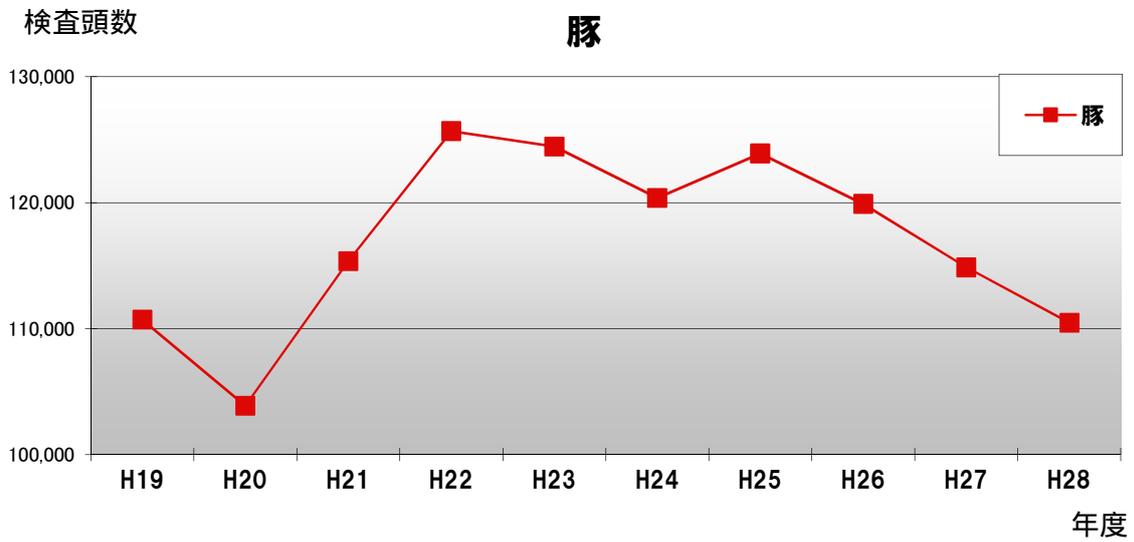
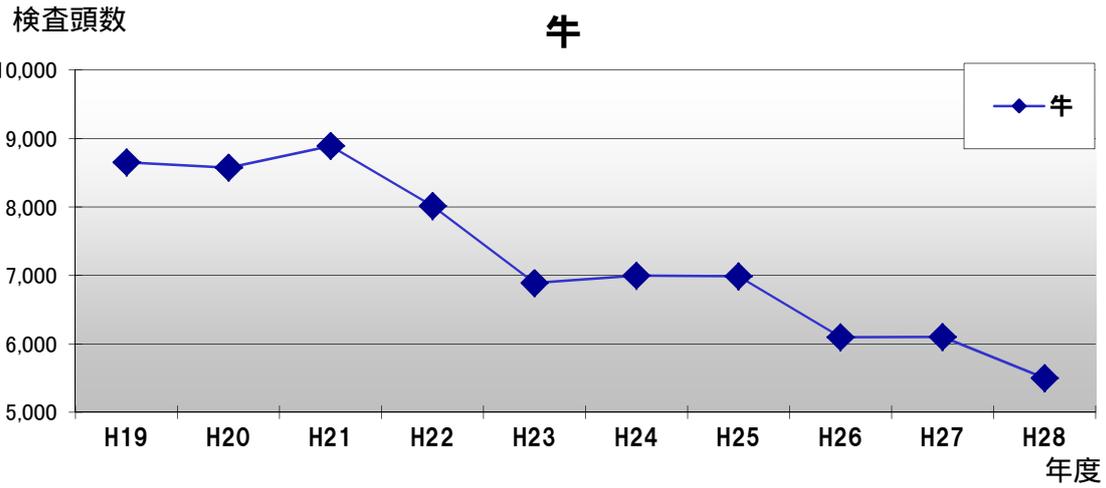
と畜検査頭数

(1) と畜検査頭数の推移

年度	畜種 牛	とく	馬	豚	めん羊・山羊	計
平成19年度	8,654	3	15	110,689	5	119,366
平成20年度	8,575	10	16	103,858	1	112,460
平成21年度	8,891	5	19	115,343	1	124,259
平成22年度	8,014	11	12	125,664	0	133,701
平成23年度	6,890	3	3	124,449	0	131,345
平成24年度	6,998	11	1	120,367	0	127,377
平成25年度	6,986	12	0	123,890	0	130,888
平成26年度	6,096	7	0	119,898	0	126,001
平成27年度	6,103	3	0	114,864	0	120,970
平成28年度	5,500	7	0	110,453	0	115,960

平成19年度の検査頭数を1.0とした場合の牛豚のと畜検査頭数の増減比較





(2) と畜検査頭数の内訳

と畜場別・月別と畜検査頭数(平成28年度)
(県計)

畜種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
肉用牛	459	456	410	450	403	450	425	486	472	381	413	425	5,230
乳用牛	24	20	18	27	26	28	27	26	24	13	17	20	270
とく	0	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	7
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	9,531	8,428	8,542	8,388	9,153	9,535	8,945	9,615	10,367	9,010	8,870	10,069	110,453
めん羊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山羊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10,014	8,906	8,971	8,865	9,582	10,015	9,397	10,127	10,863	9,404	9,300	10,516	115,960

(佐賀県食肉センター)

畜種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
肉用牛	459	456	410	450	403	450	425	486	472	381	413	425	5,230
乳用牛	24	20	18	27	26	28	27	26	24	13	17	20	270
とく	0	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	7
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	8,013	7,138	7,316	7,343	7,978	8,208	7,751	7,949	8,793	7,539	7,577	8,527	94,132
めん羊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山羊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	8,496	7,616	7,745	7,820	8,407	8,688	8,203	8,461	9,289	7,933	8,007	8,974	99,639

(太良食肉センター)

畜種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豚	1,518	1,290	1,226	1,045	1,175	1,327	1,194	1,666	1,574	1,471	1,293	1,542	16,321
めん羊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山羊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,518	1,290	1,226	1,045	1,175	1,327	1,194	1,666	1,574	1,471	1,293	1,542	16,321

月別の時間外検査頭数

(県計)

畜種 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
牛	2	5	4	7	5	5	7	4	4	5	3	3	54
とく													0
馬													0
豚													0
めん羊・山羊													0
計	2	5	4	7	5	5	7	4	4	5	3	3	54

月別病畜の検査頭数

(県計)

(時間外含む)

畜種 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
牛	34	32	45	48	65	50	47	49	41	32	42	46	531
とく		2	1			2						2	7
馬													0
豚	2		1										3
めん羊・山羊													0
計	36	34	47	48	65	52	47	49	41	32	42	48	541

(3) 検査結果に基づく措置状況

と畜検査措置別頭数

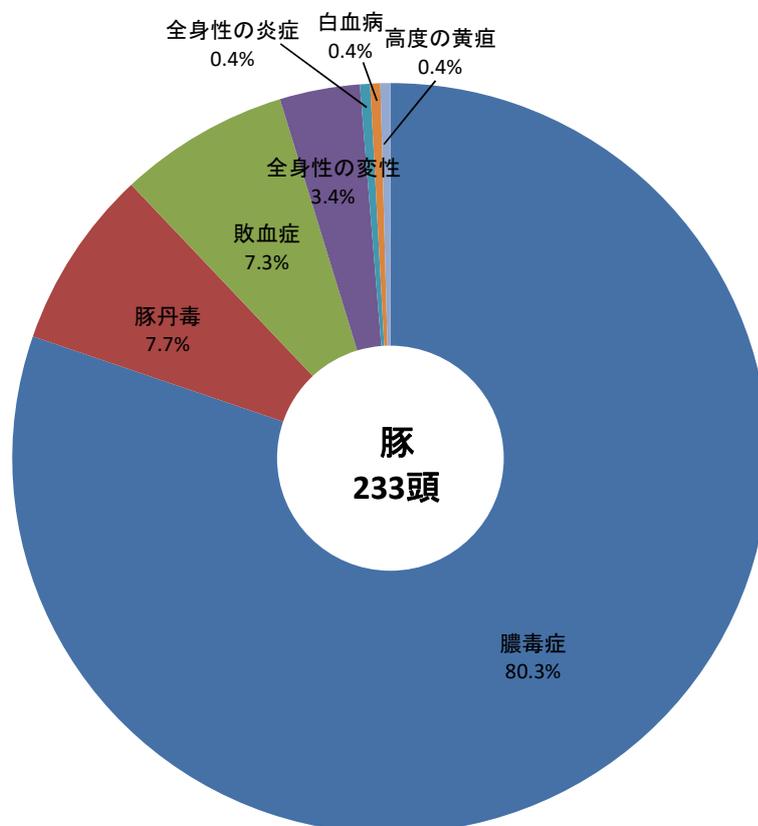
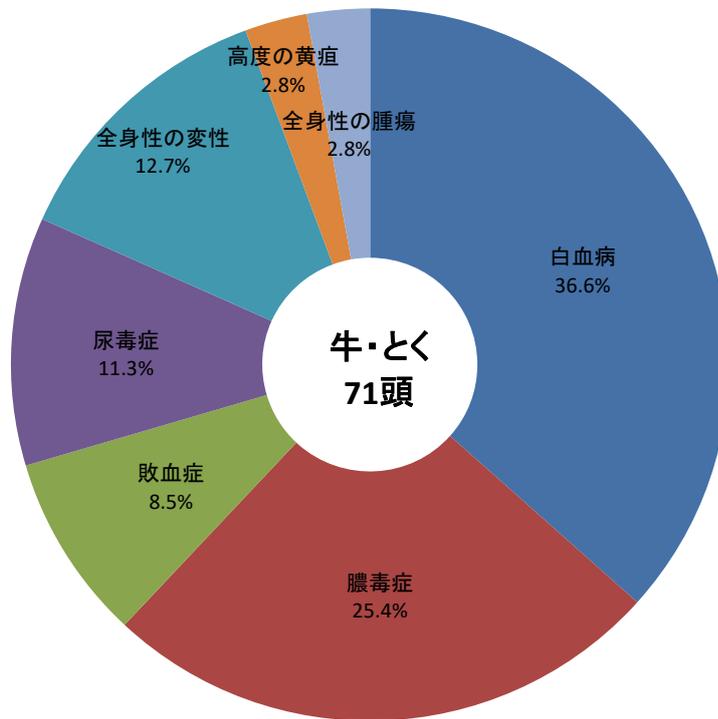
	牛	とく	馬	豚		めん羊 山羊	佐賀県 食肉セ ンター 計	太良 食肉セ ンター 計	県 計	
				佐賀県 食肉セ ンター	太良 食肉セ ンター					
と畜検査頭数	5,500	7	0	94,132	16,321	0	99,639	16,321	115,960	
措 置 頭 数	とさつ解体禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	
	全部廃棄	70	1	0	107	126	0	178	126	304
	部分廃棄	4,296	6	0	72,608	12,081	0	76,910	12,081	88,991
	計	4,366	7	0	72,715	12,207	0	77,088	12,207	89,295

太良食肉センターは、H28年度は豚のみ

病名別全部廃棄頭数

病 名	畜 種	牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	計
豚 丹 毒					18		18
膿 毒 症		18			187		205
敗 血 症		6			17		23
尿 毒 症		8					8
高 度 の 黄 疸		2			1		3
高 度 の 水 腫							0
全 身 性 の 腫 瘍		2					2
全 身 性 の 炎 症					1		1
全 身 性 の 変 性		8	1		8		17
白 血 病		26			1		27
豚 赤 痢							0
悪 性 水 腫		0					0
計		70	1	0	233	0	304

病名別全部廃棄の割合



病名別部分廃棄頭数

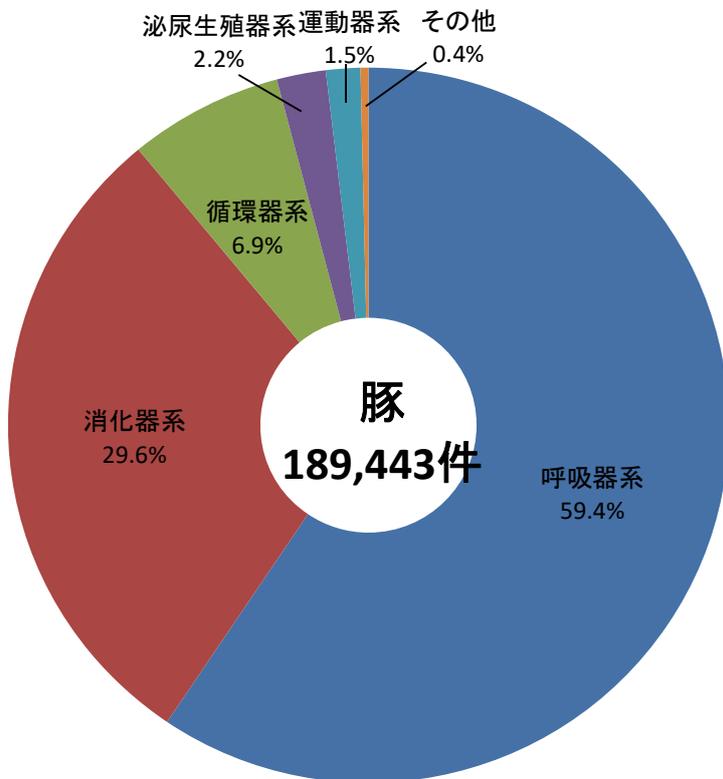
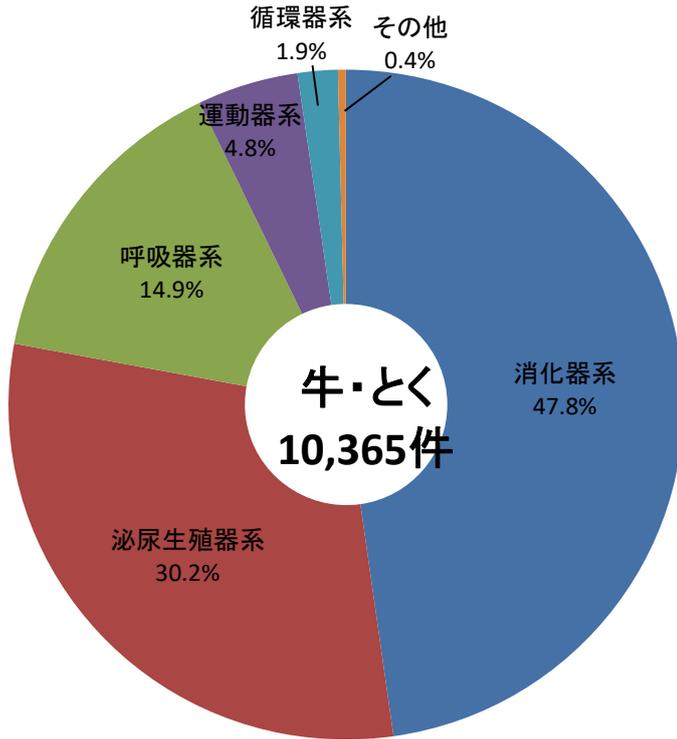
病名		畜種		馬	豚	めん羊 山羊	計
		牛	とく				
呼吸器系	鼻炎						0
	肺炎	481	1		4,315		4,797
	SEPL軽度				42,606		42,606
	SEPL重度				8,313		8,313
	へモ肺炎				1,388		1,388
	肺膿瘍	42	1		6,079		6,122
	肺気腫	74					74
	豚肺虫症						0
	胸膜炎	820	1		32,964		33,785
	化膿性胸膜炎	11			540		551
	横隔膜炎	46			16,340		16,386
	横隔膜膿瘍	69	1		41		111
	肺充血						0
	呼吸器系の腫瘍						0
	呼吸器系の奇形						0
	その他	1					1
	小計	1,544	4	0	112,586	0	114,134
循環器系	心筋炎	5	1		15		21
	心臓肥大				170		170
	心外膜炎	102	1		8,007		8,110
	心筋変性	18			264		282
	創傷性心膜炎						0
	心筋出血	17	1		12		30
	心内膜炎	1			3		4
	心臓の奇形						0
	脾包膜炎	11			4,484		4,495
	脾臓の腫瘍						0
	捻転脾				15		15
	脾出血性梗塞				1		1
	その他	42			130		172
小計	196	3	0	13,101	0	13,300	

病名	畜種	畜種					計
		牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	
消化器系	胃 炎	265	1		4,518		4,784
	胃 潰瘍						0
	小 腸 炎	215	2		6,878		7,095
	大 腸 炎	191	2		9,328		9,521
	腸 ヘルニア				1,010		1,010
	非定型抗酸菌症				211		211
	腸間膜脂肪壊死	800					800
	直 腸 脱	1			24		25
	腸 気泡症				8		8
	腹 膜 炎	33			4,527		4,560
	腹 膜 膿瘍	11			193		204
	豚 回 虫 症						0
	肝 炎	671	2		1,975		2,648
	肝 包 膜 炎	280			6,904		7,184
	間 質 性 肝 炎				12,115		12,115
	退 色 肝	1			1,110		1,111
	肝 出 血	1,282			298		1,580
	鋸 屑 肝	607					607
	肝 膿瘍	173	1		42		216
	胆 管 炎	149					149
	肝 硬 変	4			19		23
	肝 富 脈 斑	46					46
	肝 の 変 性	20					20
	囊 胞 肝	2			2		4
	肝 繊 維 症						0
	肝ミコバクテリウム症						0
	肝 蛭 症	15					15
	脾 臓 水 腫				967		967
	消化器系の腫瘍	2					2
	消化器系の奇形				2		2
	寄 生 虫 症						0

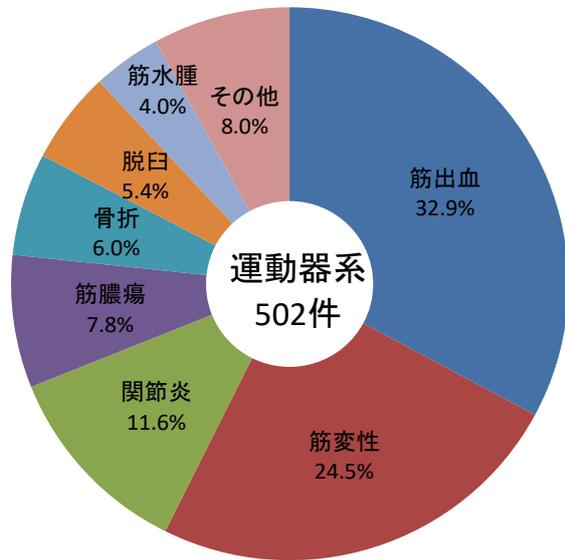
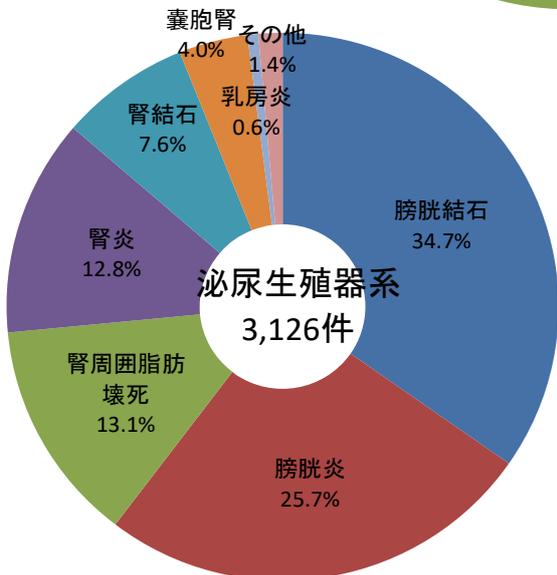
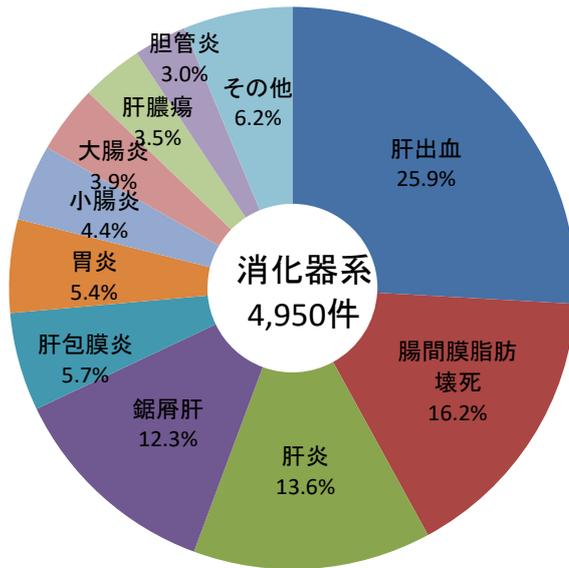
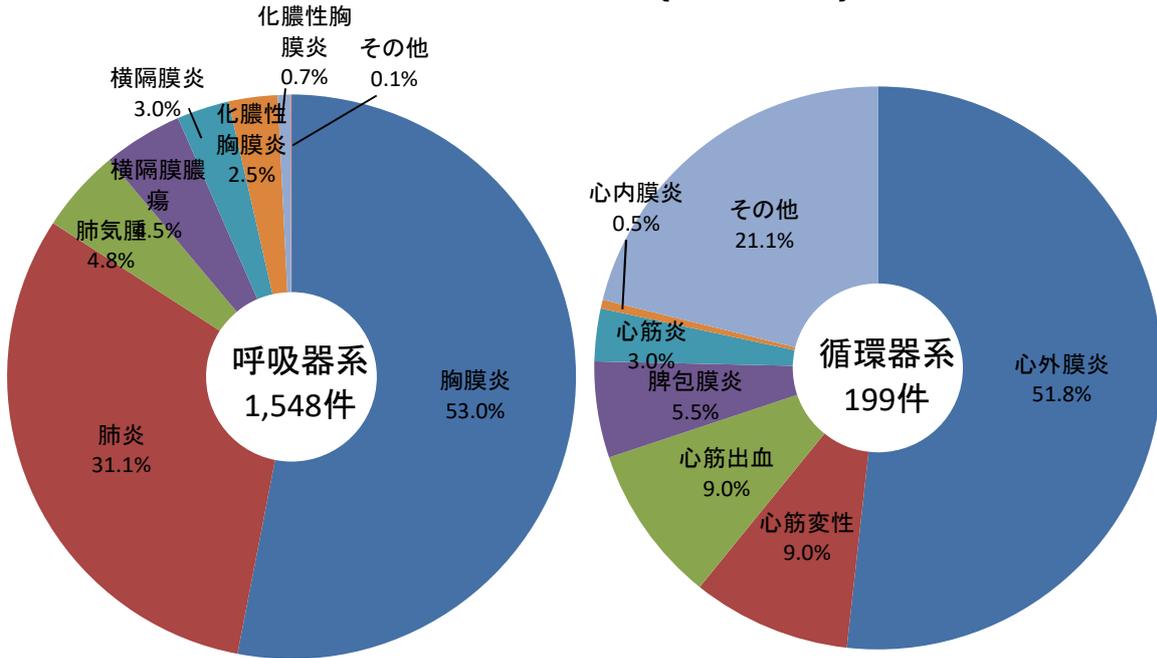
病名		畜種					計
		牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	
消化器系	肝小葉間静脈炎	75					75
	肝砂粒症						0
	寄生虫性肝炎				5,867		5,867
	その他	99			2		101
	小計	4,942	8	0	56,000	0	60,950
泌尿生殖器系	腎炎	401			1,225		1,626
	腎結石	237	1		1		239
	嚢胞腎	126			1,160		1,286
	腎芽腫						0
	腎の変性	1					1
	腎周囲脂肪壊死	410					410
	膀胱炎	801	1		1,255		2,057
	膀胱結石	1,084	1		109		1,194
	尿道炎	1					1
	尿道結石	1					1
	生殖器奇形						0
	卵巣嚢腫				9		9
	子宮炎	13			251		264
	子宮蓄膿症	3			4		7
	子宮・膣脱	5			12		17
	妊娠子宮	14			97		111
	乳房炎	20			31		51
	後産停滞	1					1
	上記以外の炎症	3					3
	上記以外の腫瘍	0			2		2
化膿性膀胱炎	2					2	
小計	3,123	3	0	4,156	0	7,282	
運動器系	関節炎	57	1		1,306		1,364
	脱臼	26	1		1		28
	骨折	28	2		75		105
	外傷						0

病名	畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	計
	運動器系	筋炎	1				
筋変性		122	1		165		288
筋出血		162	3		336		501
スポット							0
筋膿瘍		39			923		962
筋水腫		20			1		21
脊髄膿瘍					9		9
放線菌症		3					3
蹄葉炎		5					5
上記以外の炎症		6	1		109		116
上記以外の変性		22	1		3		26
その他		1					1
小計		492	10	0	2,928	0	3,430
その他		消化器以外の寄生虫症					
	黄疸	1			4		5
	火傷	1					1
	皮下膿瘍	35			664		699
	皮膚メラノーマ				1		1
	白内障						0
	大脳皮質壊死症						0
	脳炎						0
	眼球の腫瘍						0
	フレグモ－ネ						0
	メラニン沈着症						0
	その他	3			3		6
	小計	40	0	0	672	0	712
合計	10,337	28	0	189,443	0	199,808	

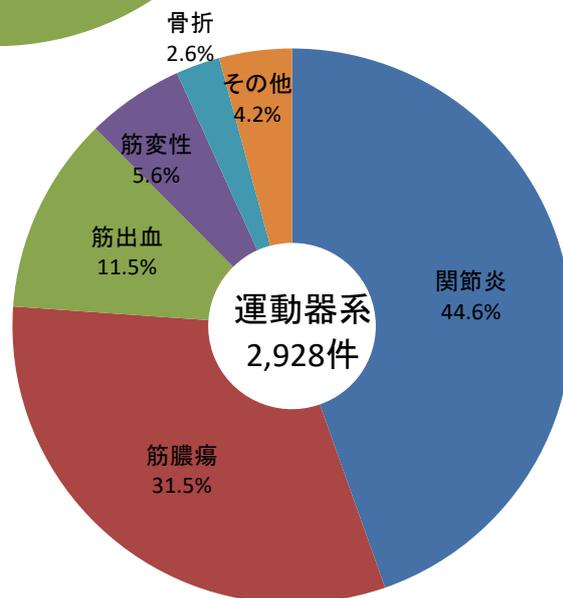
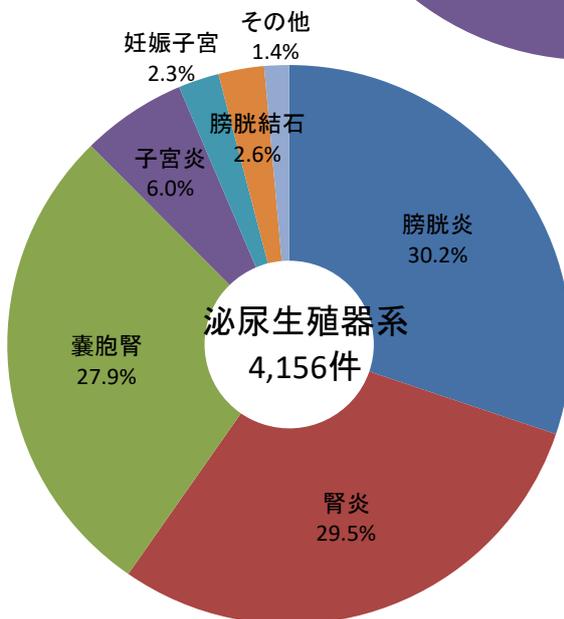
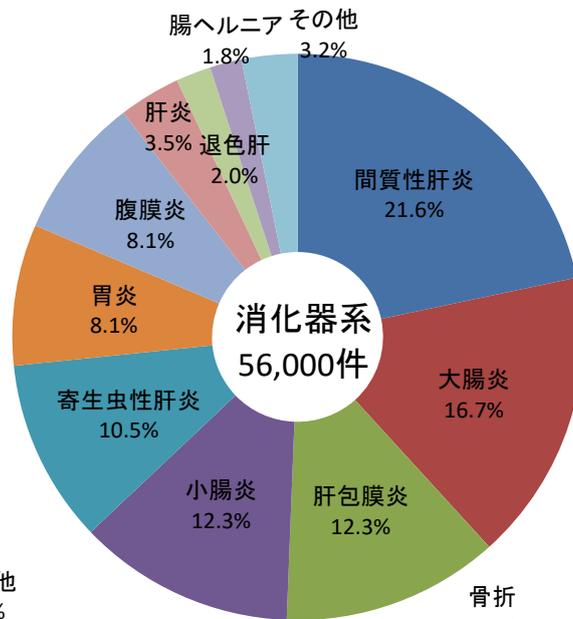
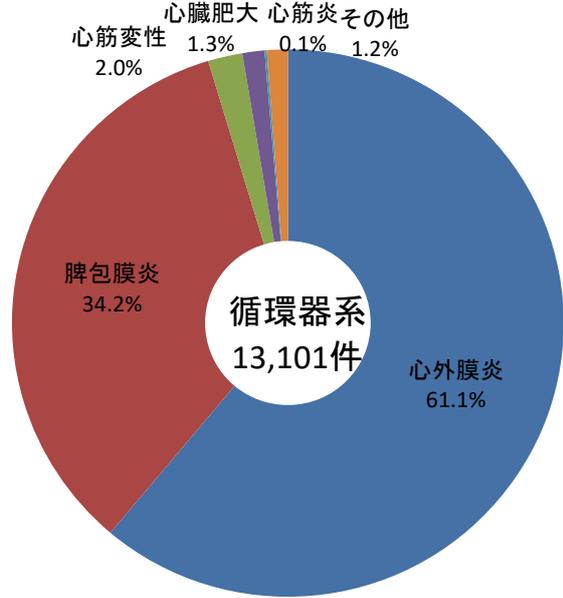
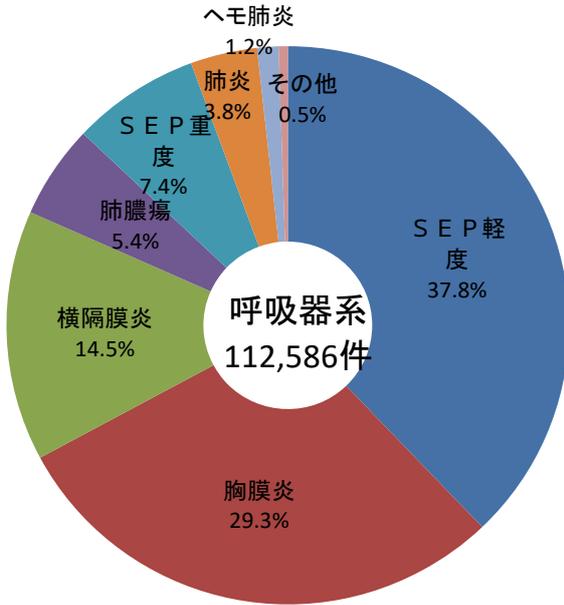
畜種別部分廃棄件数の割合



部分廃棄件数の割合（牛・とく）



部分廃棄件数の割合（豚）



(4) 病畜の検査状況 (県計頭数)

病名別分類

病 名	検 査 結 果			
	牛		とく	豚
	時間内	時間外	時間内	時間内
肺 炎 ・ 肺 膿 瘍	79	11	1	
肺 気 腫 ・ 肺 水 腫	2			
胸 膜 炎 ・ 横 隔 膜 炎	6	2		
肝 炎 ・ 肝 膿 瘍 ・ 胆 管 炎	65	1		
肝 硬 変 ・ 肝 出 血 ・ う っ 血	8			
肝 蛭 症	1			
急 性 ・ 慢 性 鼓 脹 症	2			
胃 炎 ・ 胃 腸 炎 ・ 胃 潰 瘍	18	3	1	
第 四 胃 変 位	5			
腸 炎 ・ 腸 捻 転	16	1		1
直 腸 脱 (含 ヘルニア)		1		
腹 膜 炎	9			
腎 炎	6	1		
尿 石 症 (腎 ・ 膀 胱 結 石)	12	1	1	
膀 胱 炎	9	2		
子 宮 内 膜 炎 ・ 子 宮 蓄 膿 症		1		1
子 宮 ・ 膣 脱	5			
難 産 ・ 早 産	1	1		
産 前 ・ 産 後 起 立 不 能	13	1		
乳 房 炎 (含 壊 疽 性)	14			
筋 肉 炎 (含 膿 瘍)	1			
筋 肉 水 腫	5			
筋 肉 変 性	1			
筋 肉 出 血	6			
関 節 炎	37	2	1	
脱 臼 ・ 亜 脱 臼 ・ 捻 挫	22	3		
骨 折	18	7	2	
打 撲 傷	1	2		
趾 間 腐 爛 ・ 蹄 葉 炎	5	1		

病名	検査結果			
	牛		とく	豚
	時間内	時間外	時間内	時間内
腰 痠 ・ 腰 麻 痺	11	1		
熱 射 病 ・ 日 射 病	5			
放 線 菌 症	3			
脂 肪 壊 死 症	14	2		
そ の 他 の 疾 病	7	1		
著 変 な し	17	2		
膿 毒 症	16	2		1
敗 血 症	3	1		
尿 毒 症	6	1		
高 度 の 黄 疸	2			
白 血 病	20			
全 身 性 の 変 性	5	3	1	
全 身 性 の 腫 瘍	1			
計	477	54	7	3

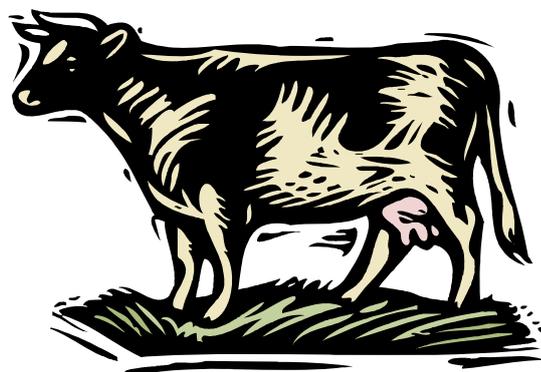
疾患別分類

疾患の分類	検査結果			
	牛	とく	豚	合計
呼 吸 器 系 疾 患	100 (15.1%)	1 (14.3%)		101 (18.7%)
肝 疾 患	75 (20.5%)			75 (13.9%)
消 化 器 系 疾 患	55 (11.6%)	1 (14.3%)	1 (33.3%)	57 (10.5%)
泌 尿 器 系 疾 患	31 (3.7%)	1 (14.3%)		32 (5.9%)
生 殖 器 系 疾 患	36 (5.3%)		1 (33.3%)	37 (6.8%)
運 動 器 系 疾 患	111 (17.0%)	3 (42.8%)		114 (21.1%)
そ の 他 の 疾 患	63 (16.1%)			63 (11.6%)
全 部 廃 棄	60 (10.0%)	1 (14.3%)	1 (33.3%)	62 (11.5%)
計	531	7	3	541

(5) B S E スクリーニング検査結果

平成28年4月～平成29年3月(検査対象月齢:48か月齢超)

区 分	検 査 頭 数	陰 性	陽 性
症状を呈する牛	0	0	0
48か月齢超の牛	355	355	0
その他の牛	0	0	0
合 計	355	355	0



(6) 精密検査

病名別検査実施状況

病名	検査頭数						検査件数						疾病決定頭数						
	牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	計	細菌検査			病理 検査	理化学 検査	寄生虫 原虫 その他	計	牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	計
							鏡検	培養	同定										
豚丹毒				74		74	309	1,010	96				1,415				18		18
膿毒症	2			12		14	181	234				415	1			11		12	
敗血症	7			22		29	310	470	9			789	6			16		22	
悪性水腫																			
尿毒症	47					47					56	56	8					8	
黄疸	22			2		24					24	24	2			1		3	
水腫																			
腫瘍	30			2		32				553	272	825	2					2	
全身性の炎症																			
変性萎縮	1					1				2		2	1					1	
白血病													26			1		27	
その他	9			12		21				70	9	79	2			63		65	
計	118			124		242	800	1,714	105	625	361	3,605	48			110		158	

食品衛生法に基づく有害物質残留検査（厚生労働省モニタリング検査）

検体品名	牛		豚		鶏		はちみつ	養殖魚	乳	計
	筋肉	腎臓	筋肉	腎臓	筋肉	卵				
検体数	25	25	35	35	30	16	10	7	4	187
検査延件数	229	25	324	35	330	96	10	7	4	1,060
陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陰性数	25	25	35	35	30	16	10	7	4	187

微生物学的な簡易検査法、高速液体クロマトグラフィーを用いた残留抗生物質等の検査

食品衛生法に基づく有害物質残留検査（独自モニタリング検査）¹

畜種	牛		とく		馬		豚		めん羊 山羊		計
	筋肉	腎	筋肉	腎	筋肉	腎	筋肉	腎	筋肉	腎	
検査頭数	164	0	0	0	0	0	182	0	0	0	346
検査延件数	164	0	0	0	0	0	198	0	0	0	362
陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陰性数	164	0	0	0	0	0	182	0	0	0	346

¹微生物学的な簡易検査法、高速液体クロマトグラフィーを用いた残留抗生物質等の検査

食中毒菌汚染対策事業

検査部位 検査項目	牛				豚	その他 (施設器具等)	合計
	枝肉	内臓	糞便	小計	枝肉		
腸管出血性大腸菌	20	0	0	20	0	0	20
サルモネラ	20	0	0	20	40	0	60
一般細菌	25	0	0	25	40	29	94
大腸菌群	25	0	0	25	40	29	94
E.coli	25	0	0	25	40	29	94

第3章 食鳥肉衛生指導事業

1 県内食鳥処理場位置図



区分	番号	食鳥処理場名	所在地	処理食鳥	年間処理羽数
大規模食鳥処理場		(株)佐賀ブロイラー	佐賀市	成 鶏	約208万羽
		トリゼン食鳥肉協同組合	唐津市	ブロイラー	約559万羽
		(株)ヨコオ巖木工場	唐津市	ブロイラー	約443万羽
		(株)JAフーズさが伊万里チキンフーズ工場	伊万里市	ブロイラー	約712万羽
		ありた(株)	西松浦郡有田町	ブロイラー	約380万羽
認定小規模		就労継続支援施設東西食鶏加工	佐賀市	成 鶏	約24万羽
		山田処理場	唐津市	成 鶏	約1万3000羽

2 事業概要

食鳥検査制度発足当初（平成3年）から、大規模食鳥処理場（年間処理羽数が30万羽を超える施設）における食鳥検査を（公財）佐賀県食鳥肉衛生協会に委任している。

県内には、大規模食鳥処理場が5施設、認定小規模食鳥処理場が2施設あり、全食鳥処理場の処理羽数は、約23,271千羽である。

その内訳としては、大規模食鳥処理場が約23,018千羽で、認定小規模食鳥処理場が約253千羽であり、平成27年度に比べ、大規模食鳥処理場で約358千羽減少し、認定小規模食鳥処理場で約8千羽減少した。

当検査所では、食鳥肉の安全及び衛生確保を図るため、食鳥処理場の監視指導及び食鳥とたいの拭き取り検査並びに残留有害物質等の検査を実施するとともに、食鳥処理衛生管理者及び従事者を対象とした衛生講習会を開催し、施設の整備及び衛生管理等の改善指導に努めている。

また、県内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生した際には、（公財）佐賀県食鳥肉衛生協会及び各食鳥処理場へ随時情報提供を行い、速やかな情報共有及び注意喚起を行うとともに、防疫業務に従事した。

食鳥処理場等に対しては、引き続き感染食鳥の搬入防止や従事者の汚染防止等の周知徹底及び指導に努めている。

(1)立入検査状況

処理場	施設数	立入回数	指導件数		
			構造設備	衛生管理等	計
検査対象施設 （大規模処理場）	5	16	0	25	25
確認対象施設 （認定小規模処理場）	2	7	0	11	11

(2)収去検査状況

収去検体数 （もも）	抗生物質	合成抗菌剤
	陽性数	陽性数
30	0	0

(3)拭き取り検査状況

検査項目	一般細菌	大腸菌群	サルモネラ	カンピロバクター	黄色ブドウ球菌
	1.0×10^3 cfu/cm ² 以上	陽性数	陽性数	陽性数	陽性数
施設数（7施設）	3	0	0	3	0
検体数（27検体）	3	0	0	3	0

検査対象施設 5施設、確認対象施設 2施設

(4) 食鳥検査及び確認状況

年度別羽数

(単位：羽)

検査対象施設	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ブロイラー	20,343,014	21,308,063	20,939,259
成鶏	1,891,423	2,067,964	2,078,330
合計	22,234,437	23,376,027	23,017,589

確認対象施設	平成26年度	平成27年度	平成28年度
成鶏	263,417	261,257	253,392

月別羽数

(単位：千羽、以下四捨五入)

検査対象施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ブロイラー	1,825	1,771	1,742	1,713	1,679	1,725	1,725	1,810	2,004	1,702	1,643	1,601
成鶏	175	157	147	150	209	175	190	192	146	179	187	171
合計	2,000	1,928	1,888	1,863	1,888	1,900	1,915	2,002	2,150	1,881	1,830	1,772

確認対象施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
成鶏	22	21	21	21	19	21	21	21	23	21	21	22

食鳥検査に基づく措置（検査対象施設）

1) 措置羽数

(単位：羽)

種類 措置	ブロイラー	成鶏	合計
検査羽数	20,939,259	2,078,330	23,017,589
合格	20,099,781	2,056,897	22,156,678
解体禁止	109,858	0	109,858
全部廃棄	180,539	21,433	201,972
一部廃棄	549,081	0	549,081

2) 措置の理由

(単位：羽)

種類	ブロイラー			成鶏			合計		
	検査羽数	20,939,259			2,078,330			23,017,589	
措置区分	禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄
マレック病	0	862	0	0	0	0	0	862	0
サルモネラ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸菌症	0	39,062	0	0	0	0	0	39,062	0
ブドウ球菌症	0	17	0	0	0	0	0	17	0
敗血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
変性	26,698	8,225	110,398	0	1,517	0	26,698	9,742	110,398
尿酸沈着症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹水症	14,638	18,056	0	0	0	0	14,638	18,056	0
出血	0	165	45,116	0	0	0	0	165	45,116
炎症	0	87,366	393,564	0	6,595	0	0	93,961	393,564
萎縮	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍	0	193	3	0	5,201	0	0	5,394	3
黄疸	0	71	0	0	0	0	0	71	0
外傷	0	13	0	0	0	0	0	13	0
削瘦及び発育不良	68,308	21,334	0	0	5,035	0	68,308	26,369	0
放血不良	214	3,186	0	0	3,085	0	214	6,271	0
湯漬過度	0	1,983	0	0	0	0	0	1,983	0
その他	0	6	0	0	0	0	0	6	0
合計	109,858	180,539	549,081	0	21,433	0	109,858	201,972	549,081
措置率(%)	0.52%	0.86%	2.62%	0.00%	1.03%	0.00%	0.48%	0.88%	2.39%

確認に基づく措置(確認対象施設)

(単位：羽)

措置	確認羽数 (253,392羽)	措置率(%)	
生体の状況	廃棄	0	0.00%
体表の状況	全部廃棄	888	0.35%
	一部廃棄	0	0.00%
体壁の内側面の状況	廃棄	0	0.00%
内臓の状況	当該臓器のみ廃棄	818	0.32%
	内臓全部廃棄	0	0.00%
合計	全部廃棄	888	0.35%
	一部廃棄	818	0.32%

第4章 調査研究事業

1 調査・研究・報告の概要

学会発表

年月日	学会名等	演題名
H28.11.16～11.17	全国食肉衛検査所協議会病理部会研修会	牛の卵巣の腫瘍

演 題：牛の卵巣の腫瘍
機 関 名：佐賀県食肉衛生検査所 氏 名：佐藤 純平
動 物 名：牛 品種：黒毛和種 性別：雌 年齢：9歳4ヵ月
病 歴：なし

生 体 所 見：通常畜として搬入され、著変は認められなかった。

内 臓 所 見：一方の子宮角端に、16.0×12.5×8.0 cm大の腫瘤化した卵巣を認めた。腫瘍は被膜により完全に被包され、やや軟らかく、断面は白色で明らかな壊死は認められなかった。他方の卵巣（3.5×2.5×1.0 cm）や他の臓器に著変は認められなかった。

組 織 所 見：腫瘍では、被膜直下より多形な腫瘍細胞が線維を伴いつつ索状に増殖し、胞巣状の組織構造を形成していた。腫瘍細胞はやや大小不同を示す類円形～楕円形核と明瞭な核小体を有しており、細胞質は好酸性顆粒状であった。鍍銀染色では線維が胞巣を区画するように増生しており、これらの線維はアザン染色で青～灰青色を示した。免疫組織化学的検査で、腫瘍細胞は抗 Cytokeratin 抗体（AE1/AE3:Dako）陰性、抗 Vimentin 抗体（V9:Dako）陽性を示した。

固 定 方 法：10%中性緩衝ホルマリン

切り出し部位（図示）



行政処分： 全部廃棄 ・ 一部廃棄（ 卵巣の腫瘍 ）

組織診断名：牛の卵巣のセルトリ細胞腫

疾病診断名：牛の卵巣のセルトリ細胞腫

2 研修・会議等参加状況

時 期	研 修 会 等 の 内 容	場 所
H28.5.19 ~ 5.20	全国食肉衛生検査所協議会 病理部会総会及び研修会	神 奈 川 県
H28.7.20 ~ 7.21	全国食肉衛生検査所長会議 全国食肉衛生検査所協議会全国大会	宮 城 県
H28.10.7	全国食肉衛生検査所協議会 理化学部会総会及び研修会	茨 城 県
H28.10.12	佐賀県食肉センター再整備に係る先進地視察	大 分 県
H28.10.14	死亡牛適正処理推進協議会	佐 賀 県
H28.10.15 ~ 10.16	九州地区獣医師大会ならびに獣医学術九州地区大会	福 岡 県
H28.10.26 ~ 10.27	Agilent HPLC OpenLAB CDC ChemStation オペレーション基礎	福 岡 県
H28.10.27 ~ 10.28	九州地区食肉衛生検査所協議会大会	大 分 県
H28.11.9	HACCP普及推進地方連絡協議会及び行政担当者会議(九州ブロック)	福 岡 県
H28.11.9	全国食肉衛生検査所協議会 微生物部会総会及び研修会	神 奈 川 県
H28.11.15 ~ 11.16	対米等牛肉輸出に係る関係県会議	宮 崎 県
H28.11.15	薬事・衛生審議会食品衛生分科会 伝達性海綿状脳症対策部会 の傍聴	東 京 都
H28.11.16 ~ 11.17	全国食肉衛生検査所協議会 病理部会研修会	神 奈 川 県
H28.11.29	輸出環境課題の解決に向けたHACCP講習会	東 京 都
H29.1.23 ~ 1.24	食肉衛生技術研修会・衛生発表会	東 京 都
H29.1.25 ~ 1.26	食鳥肉衛生技術研修会・衛生発表会	東 京 都
H29.2.24 ~ 2.26	日本獣医師会獣医学術年次大会	石 川 県
H29.3.13 ~ 3.15	佐賀県食肉センター再整備に係る先進地視察	鹿 児 島 県

第5章 その他の事業

1 佐賀大学との調査研究

と畜検査における病理学的調査研究を佐賀大学医学部と実施しており、毎週1回、1名の検査員が佐賀大学医学部病理学教室で、調査研究及び技術の研鑽に努めている。

2 食肉に関する衛生教育及び施設研修等

畜産食品の需要が高まる今日、より一層の食肉の安全確保を図るため、関係団体の共励会及び食肉センター職員への講習会等での衛生指導を実施し、食肉衛生の向上に努めている。

対 象 者	実施回数	参加者数	備 考
佐賀牛枝肉共励会	2回	計600名	衛生指導
畜産公社管理者・従業員	7回	計310名	と畜場施設の衛生管理講習会
太良食肉販売協同組合管理者・従業員	1回	12名	と畜場施設の衛生管理講習会
食鳥処理衛生管理者・従業員	1回	22名	食鳥処理施設の衛生管理講習会
食鳥肉衛生協会検査員	1回	15名	平成28年度検査員研修会(食鳥肉衛生協会)
計	12回	959名	

白衣、衛生キャップ着用及び手洗いに関する衛生指導

3 と畜検査結果のフィードバック

安全な食肉の生産供給のため、生産者、と畜場設置者及び家畜保健衛生所等との連携を密にし、と畜検査結果データをフィードバックすることにより、生産段階で活用され、生産から流通、消費に至る総合的な食肉の安全確保に寄与している。

4 研究機関等への協力

大学などから研究材料、疾病調査及び教育教材など材料採取等の依頼があったものについては、積極的に協力している。

調 査 研 究 機 関 等	部 位
出荷団体（JA）	豚の頭部及び肺
佐賀県衛生薬業センター	豚の血液
佐賀県畜産試験場	牛の卵巣
佐賀大学	牛の卵巣
佐賀大学	豚の甲状腺